

[バイオマス燃料電池発電 / 人工光合成系による燃料生産]

植物バイオマスはエネルギー資源としての賦存量が膨大にあり、地球上に定常的に蓄積されている植物資源は、世界の年間1次エネルギー需要の約100倍に達し、光合成が1年間に生産する植物バイオマスの10%を利用すれば世界のエネルギー需要が賄えるとされている。このため、グルコースを始めとする様々なバイオマスを燃料とする燃料電池の研究が盛んに行われ、最近では多電子分解触媒も登場している。一方、植物等が持つ光合成を模した人工光合成により、水素やC1化合物（一酸化炭素やギ酸、メタンなど）に一旦太陽エネルギーを固定した上で燃料電池の燃料として利用する研究も始まっている。このようなことから、光合成もしくは人工光合成産物を燃料電池の燃料として利用する最先端の研究を知る機会として本講演会を企画した。

主催：一般社団法人日本太陽エネルギー学会 太陽光化学・バイオマス部会

協賛（申請中）：（一社）日本エネルギー学会、（公社）日本化学会

日時：平成27年6月26日（金）13:00～18:00

会場：東京理科大学森戸記念館・第2フォーラム（JR飯田橋駅徒歩6分 / 神楽坂・毘沙門天向側の福屋・鳥茶屋路地20m）

定員：70名（先着順）

参加費：会員5,000円、非会員10,000円、学生2,000円（テキスト含む）

参加方法：参加申込書またはホームページ掲載の申込書にご記入のうえ、日本太陽エネルギー学会事務局までE-mail、FAXにてお送りください。参加費は出来るだけ事前振込をお願いいたします。

[振込口座：三菱東京UFJ銀行・新宿中央支店・普通・3227375 [イッパ^ンシヤダ^ンホウジンニホクタイウエネルギーガ^クカイ] お申し込み者への参加証等の送付はありません。当日会場までお越しください。

申込期限：平成27年6月22日（月）

問い合わせ先：日本太陽エネルギー学会 事務局 電話 03-3376-6015 FAX 03-3376-6720

E-mail: info@jses-solar.jp

講演プログラム（講演者敬称略、演題名・講演者・講演順変更になる場合があります）

13:00～13:05 開催挨拶（司会） (独) 森林総合研究所 埴 藤徳

13:05～13:35 序論・バイオマス燃料電池と人工光合成系による燃料生産

(株) バイオフォトケモニクス研究所 金子正夫

13:35～14:15 貴金属触媒を用いるバイオマス燃料電池 産業技術総合研究所 藤原直子

14:15～14:55 バイオ電池の高出力化技術の開発 (株) アイシン・コスモス研究所 中沖優一郎

14:55～15:05 休憩

15:05～15:45 ギ酸燃料電池と太陽光によるギ酸の生産 金沢大学 辻口拓也

15:45～16:25 人工光合成によるメタンの合成 パナソニック (株) 四橋聡史

16:25～16:35 休憩

16:35～17:15 人工光合成の化学産業への導入可能性についての考察

(株) 三菱化学科学技術研究センター 瀬戸山亨

17:15～17:55 二酸化炭素還元を駆動する人工光合成系開発の最前線 東京工業大学 石谷 治

17:55～18:00 閉会挨拶（一社）日本太陽エネルギー学会 太陽光化学・バイオマス部会 米原 祥友

.....参加申込書.....

FAX 03-3376-6720 E-mail: info@jses-solar.jp

[バイオマス燃料電池発電 / 人工光合成系による燃料生産]	
参加者（複数名記入可）：	
勤務先（学校名）	
住所：〒	
電話 / FAX：	
E-mail：	
会員種別 <input type="checkbox"/> 会員 <input type="checkbox"/> 非会員 <input type="checkbox"/> 学生	
請求書 <input type="checkbox"/> 不要 <input type="checkbox"/> 必要（請求書宛名) 領収書は来場時にお渡します	